

公孫樹 (いちょう) 10月号

～学べ 鍛えろ 夢を持て～

コミュニティ・スクールについて報告します

行田中学校は、今年度から行田市教育委員会から「学校運営協議会」の指定を受け、市内中学校唯一の「コミュニティ・スクール」となりました。13人の委員のもと、会議を開き学校運営について様々なご意見をいただくとともに、様々な場面でご協力をいただいております。2回目の学校運営協議会は南小学校と合同で開催しました。その中で委員さんから「佐間天神社の八坂祭に行中生と南小児童と一緒に連を組んで踊ってほしい」という提案がありました。早速、本校生徒会役員が南小へ踊りの指導に行き、当日は300人の大きな「合同連」を組み踊りました。

また、コミュニティ・スクールの委員さんには積極的に学校の教育活動や環境整備に参画していただいております。月に1度の絵本の読み聞かせ、除草、樹木の伐採、体育祭時のカラー足袋の作製やテント張りのお手伝い、補充学習の講師などでお世話になっています。

コミュニティ・スクールの指定を受けたことにより、本校は、今まで以上に学校と地域の信頼関係を築き、「Win-Winの関係」をより重視してまいりたいと考えています。実際の活動が学校と地域のいずれの立場にとっても意義のあるものとなり、無理なく持続可能な連携を図っていききたいと思います。



絵本の読み聞かせ



環境整備 (樹木の伐採)



3年生の補充学習

おはようで 1日のスイッチ 入れる朝



今、学校では生徒会の発案でクラスごとに朝のあいさつ運動を行っています。2学期に入ってから、あいさつの声が少し小さくなっている感じがします。朝、正門前で立っていると、「おはようございます」と、しっかりあいさつをしてくれる生徒は**3分の1**くらいかなと思います。ちょっと寂しいですね。

浅見先生があいさつの効用を示してくれました。

あいさつの効用

- ・あいさつをすると、その人と気持ちのよい関わりができる。
 - ・相手の笑顔が見られたり、自分も笑顔になる。
 - ・人を受け入れたり、人から受け入れやすい人間関係ができやすい。
 - ・気持ちのよいあいさつは、成功・成果の出発点となる。
 - ・強い部活のチームは種目を問わず、あいさつや生活面がしっかりとできる。
- 人間力が向上してこそ、その人の競技力が向上する。



大人の社会でも、「あいつは、ろくにあいさつも知らない」とか「いい年をして満足にあいさつも出来ない」などと言われることがあります。あいさつは、一朝一夕には身に付きません。まずは、日常のあいさつからしっかりと始めてみましょう。

陸上部男子北埼玉大会第2位!

9月27日(水)北埼玉地区秋季総合体育大会(陸上)が行われ、本校陸上部男子が総合**2位**という素晴らしい成績をおさめました!。中でも男子**4×100mR**は**圧巻の第1位**でした。熱き「行中魂」を見せてもらいました。

以下の生徒が、10月10・11日に開かれる県大会に出場します。

- 【男子】 2年100m: 鈴木健斗(3位)・松島大梧 200m: 松島大梧(2位)
400m: 牧龍之介 1500m: 飯塚央翔 3000m: 飯塚央翔
4×100mR 1位(根岸蓮・鈴木健斗・牧龍之介・松島大梧)
走り高跳び: 牧龍之介(2位) 走り幅跳び: 鈴木健斗 砲丸投げ: 室田虎太郎
- 【女子】 1500m: 越もえ香

